

事業報告書

1 支援団体名	中島壮年部
2 事業名称	厳木ダム周辺「水辺の交流とオアシスの郷づくり」事業
3 実施日時	平成31年4月～令和2年2月
4 実施場所	唐津市厳木町中島墨田地内及び広瀬地域
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 周年を通じて、厳木ダム湖周辺及びダム管理道の除草、ホタル再生環境整備、6月から各団体協働川リンピック準備活動、7月生物多様性保全事業(外来種の川藻等の除去及び研修会等)の実施。7月28日にオアシスの郷のメインイベントである第4回川リンピックフェスタを開催し、地区内外の子どもクラブ及び住民等の河川環境学習会を始め、交流・体験イベント実施。秋季は、ダム周辺除草、河川内葦等の伐採、ダム周辺梅林公園の剪定作業等に参加。11月30日～12月1日(九州川のワークショップ IN 佐賀大会事業発表)。冬季は、葦等の焼却作業と河川周辺の水路等の環境整備事業を実施。特に、オアシスの郷「多面的・有機的な里山と里川づくり」事業の推進、環境整備活動を展開いたしました。
	(事業実施効果) ダム周辺及び河川・水路・管理道環境整備を始め、緑化・景観づくり活動等を通じて、ダムや水資源は流域住民の共有財産であるとの意識が向上しています。更に、生物多様性保全事業の一環としての外来種駆除やホタル再生等水資源環境の整備・保全活動等により、水資源の重要性及び公益的機能の理解をはじめ、恩恵と愛護思想が培われています。特に、川リンピックフェスタは、世代間や子ども達の学習、交流・体験等の情操教育としての個性あるイベントとして成熟しつつあります。特に、里山と河川の有機的再生と活用を図るオンリーワンの「水辺の交流とオアシスの郷づくり」の進展により、流域内外の人々のプラットホームの拠点となり、個性と魅力ある地域づくりとして地域活性化の起爆剤になっています。
6 参加内訳	総人数 582名
	(1) 主催者参加 389名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 228名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 35名
7 今後の方針	里山と里川の有機的な活用を図る水辺の交流とオアシスの郷づくりの更なる進展を図り、流域及び町内外の人々のプラットホームとしての役割を加速させ、ダムや水資源の重要性と保全意識の醸成と向上を図ります。更に、ステップアップを目指し、川まちづくり事業の基本構想策定の取り組み。個性ある川リンピックフェスタの充実を図り、世代間交流や子育て支援、体験・交流等による情操教育の深化を図ります。これらの活動を通じて、個性ある交流拠点として認知度を高め中島地域ブランド化を目指します。

厳木ダム管理道・蛭ロード（除草作業）状況



河川清掃及び外来種オオカナダ藻除去作業状況



河川（環境、生態系調査・学習会）状況



川リンピック（大玉転送ゲーム）状況



河川環境整備（葦等伐採・焼却作業）状況



オアシスの郷（里山植樹作業）状況

